

ドライテック 施工要領書

[ダイレクト仕上]

株式会社 フッコー

## 1. ドライテックについて

ドライテックは、従来の土間コンクリートに変わる透水性高強度ポーラスコンクリートです。特殊混和剤投入により一般駐車場にも使用ができるようになりました。

予算は生コンクリートより若干高いですが、材工で考えれば通常の土間コンクリート仕上げと同じプレート転圧で平坦性を取りながら仕上がって行くので土間コンクリートの様にワイヤーメッシュを入れたりコテで何回かの押さえの時間が省けた施工が可能です。

## 2. ドライテック施工時に準備する機材・道具・備品等

### 《機材》

- ・プレートランマー（60kg 推奨）

### 《道具》

- ・コテ（モルタルゴテ、土ゴテ等）
- ・レーキ・鋤簾
- ・一輪車（ネコ車）
- ・人力タンパ（端部押え用ランマー）

## 3. ドライテック施工手順

①生コン車が現場に到着したら、水溶性の袋に入った F 材を生コン車に投入し5分程度ミキサーを高速回転して下さい。水量が不十分な場合は、注水して調整して下さい。

※プラントで F 材を入れる場合は、注水調整のみ行って下さい。

※水量の調整は、材料に水の艶が出る程度です。水量が多すぎると透水性が悪くなりますのでご注意下さい。水量が多すぎた場合は、ポルトランドセメントを加えることで調整できます。

②生コン車より受け取り



③一輪車運搬



④レーキ敷き均し



ここまでは、生コン均しとほぼ同じ手順です。

⑤プレートができない転圧箇所（隅々）を人力タンパで転圧し、他はプレート転圧で平坦性を取りながら、プレートマークも消していき、十分にプレート転圧を行って下さい。

※気温が高く表面が乾燥しやすい場合は、表面が湿る程度にシャワーなどで水を散水しながら施工して下さい。過剰の散水は飛散や色ムラの原因になるので行わないで下さい。

タンパ転圧



プレート転圧



#### 4. 目地の設定

目地間隔は、約 5m ごと・応力集中する個所に設け、目地の種類は、施工状況・景観性を考慮し以下の種類の目地を使い分け、目地位置を図示し監督者の承認を得る。

##### ①後施工目地（カッター目地）

ひび割れの制御を目的として設けたひび割れ誘発目地

##### ②施工目地

部材の膨張による反り・跳ねを防止するため、全断面目地を設ける。

目地設置



仕上り



③先施工目地（ブロック、石 等）

ドライテック打設前に設置する目地

※目地材の固定が不十分の場合、骨材の飛散・割れ・剥離の原因となります。

目地設置



仕上り



5. 排水

勾配等により透水した水が溜まるような場所には、あらかじめ排水設計をすることで側溝等に水を排水することも可能です。

勾配



排水設計

